

主題: 昇天したキリストの天の務めの下で、復活したキリストを増殖させる

Overview:

アウトライン I は、昇天したキリストが元首であることを示す。キリストの昇天が第一段階である。

II は私たちが、キリストの天の務めと協力して復活したキリストを増殖させることを示し、主題と同じである。III は II の重点、復活を更に発展させたものであり、IV は II の実例である。

II、III、IV はからだの協調であり、第二段階である。

III. 昇天したキリストは、彼の天の務めを完成して、ご自身を増殖させ、神の王国が確立されて、彼の豊満としての諸召会を建造するために、一団の証し人を用いる(第二段階の重点):

- A) 使徒行伝で記録されているように、主が彼の昇天において、天における彼の務めを完成するのは、証し人を通してである。
- B) 主の復活は、使徒たちの証しの中心点であった:
 - 2. 主イエスの復活は、彼の肉体と成ること、人性、地上での人の生活、神の定められた死を、後に戻って指し示す。彼の復活は、彼の昇天、天における務めと行政、再来を、前に向かって指し示す。
 - 3. 主は神であり、また復活でもあり、不朽の命を所有している。彼はご自身を死に渡したが、死は彼を捕まえるすべがなかった。死は彼によって打ち破られ、彼は死から復活した。
 - 4. 使徒たちが復活したキリストの証し人であったのは、ただ言葉においてだけでなく、彼らの生活と活動によってでもあり、特に彼の復活の証しを担っていた。キリストの復活の証しを担うことは、神の新約エコノミーを完成することでの重点、中心点である。

IV. 私たちが昇天したキリストと協力して、復活したキリストを増殖させることは、命における行動であり、福音を広めるためである(実例):

- B) 使徒8章(ピリポ)、9章(アナニヤとサウロ)、10章(ペテロ)において、主は外側で彼の弟子たちを動かして、福音を宣べ伝えさせた。彼は天で務めをして、彼の弟子の何人かを感動させていた。
- C) これが命における行動としての、正しい福音の宣べ伝えである。キリストはかしらとして彼の頭首権を行使して、至る所で彼の弟子たちを動かした。彼らは油断せずに、彼の天からの務めに応答した。

II. 私たちは昇天したキリストの天の務めと協力して、復活したキリストを増殖させるために、使徒行伝の内在的な意義を知る必要がある(第二段階):

- A) 使徒行伝は、キリストと共に復活し昇天した一組の人々の記録であり、彼らはキリストを彼らの内側に命として持ち、それによって生き、キリストを彼らの上で強さ、力、権威として持ち、それによって活動する。
- D) 使徒行伝には一組の人々がいる。彼らは、復活と昇天の意義を知っており、彼らの命としてのキリストによって生き、彼らの力また権威としてのキリストによって活動し、自分からだであり、からだの中で、からだのために、一つの神聖な水流の中で活動していることを認識している。これが、使徒行伝の内在的な意義である。

I. 使徒行伝は、天におられる復活し昇天したキリストを啓示している(第一段階):

- B) 主の昇天は、彼が天における彼の生活と務めを開始することであった。
- C) キリストの昇天は、神が彼を引き上げることであった:
 - 1. 主は主、万民の主とされて、万物を所有した。また彼はキリスト、神の油塗られた者とされて、神の使命を遂行している。主は神として、絶えず主であった。しかし人としては、復活において彼の人性を神の中へともたらした後、昇天において主とされた。
 - 2. 神はキリストを「元首また救い主としてご自身の右に」引き上げた: a. 昇天したキリストは元首、開始者、創始者、発起人である。彼はご自身の権威を用いて主権を持って地を支配し、神の選ばれた民が彼の救いを受けられるように、環境を案配する。b. キリストは御座から私たちを救い、御座へと至らせた。これは私たちの救い主としての昇天したキリストである。